

マーケットニーズにあった観光コンテンツを学ぶ

ポストコロナにおける観光市場活性のための人材育成研修

～ガイディング、観光DX、高付加価値、マーケティング、インド市場～

公益社団法人 北海道観光機構では、コロナ後の北海道内の観光産業の活性化の為、その根幹となる人材育成に重点を置き、課題解決型の研修会を開催します。道央、道南、道北、道東の各地域の観光関係者が抱える悩みを基にテーマを設定し、自発的に解決に向け取り組む為の支援を実施。今までにない少人数の派遣型研修（全道で35回以上開催予定）から、大人数の集約型研修（5回）まで、従来の研修から進化した新しい形式で開催します。

<派遣型研修 開催概要>

宿泊施設・交通機関・観光案内所、文化関連施設・小売店の各5業種の現場における課題・テーマに適した講師を派遣し、従業員対象にて5～10名程度の少人数で研修を実施します。

<集約型研修 開催概要>

① 「ディステーションマーケティング」研修（旭川市）

「世界水準のディステーションマーケティング・プラン」を立案・実行するための、実践的知識と基礎的ノウハウを身に付ける。

日時：10月8日（火）、11月6日（水）13：30～16：00（12月～1月で3回予定）

会場：旭川市 マルウンホール

講師：北村倫夫 氏（KIRI 北村学際総研所長 元北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授）

② 「観光基礎ガイディング研修」（札幌市） 2回開催

社会情勢や訪日旅行のトレンドなどの基本事項を学ぶとともにガイド業務におけるエンターテインメント性や顧客満足度を向上させる。

日時：11月7日（木）、11月21日（木）10：00～16：00

会場：北海道経済センター

講師：安田稔幸 氏（北海道エアポート株式会社営業開発本部 観光開発部担当部長）

馬上千恵 氏（M's English 代表、北海道アドベンチャートラベルガイド）

③ 「高付加価値旅行者受入基礎知識とモデルコース造成」（函館市）

ラグジュアリートラベルマーケットをポストコロナの重点ターゲットとして捉え、高付加価値旅行者受入についての基礎知識や、高付加価値旅行者向けモデルコースづくりを学ぶ。



日時：11月15日（金） 10：00～16：00

会場：函館市中央図書館 大研修室

講師：清水泰正 氏（Japan Tourism Research & Consultancy Limited インバウンド戦略研究所）

高田 茂 氏（鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部長）

④ 「インド市場を学ぶ」（札幌市）

千歳に進出するラピダス、今後世界各国からのIT人材来道が期待される。その中でも、IT先進国インドの訪日ビジネスマーケットに注目。現状理解と基礎知識の習得を行う。

日時：11月28日（木） 13：30～16：00

会場：札幌市国際ホール（オンライン併用型）

講師：清水泰正 氏（Japan Tourism Research & Consultancy Limited インバウンド戦略研究所）

高野憲一 氏（JAL ベンガルール営業所長／南インド地域代表）

⑤ 「観光分野におけるDX・AIの活用」（網走市）

恒常的な人手不足対応や業務効率アップのため、DX・AIの積極的に活用している事例を学び、業務効率化への取り組みの一助とする。

日時：12月5日（木） 10：00～15：00

会場：オホーツク・文化交流センター 視聴覚室

講師：堀江卓矢 氏（京都DMO CMO・チーフマーケティングオフィサー）

佐藤明彦 氏（株式会社Destination HOKKAIDO Lab 代表取締役）

【別 添】 各セミナー開催チラシ（5種）

【応募方法】 各チラシ申し込みフォームより ※参加費無料・先着順

【その他】 派遣型研修は、全道各地域で観光関連業界の皆様を対象に、課題解決に向けた研修（5～10名程度）を35回以上開催します。

<報道関係の皆様へのお願い>

標記内容について、貴媒体にてご掲載いただけましたら、お手数ですが、事業担当者まで掲載紙面等を共有いただきますと幸いです。

<本件に対するお問い合わせ>

観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

(研修によって、一部お問い合わせ先が変わりますので、ご了承ください。)

◆ ①、③、④、⑤の研修について

〔担当会社〕 株式会社ライブ環境計画（コンソーシアム会社）
札幌市中央区北2条西13丁目1-10 3F 担当:鈴木
〔電話〕 011-213-1955（平日 09:30～17:00）
〔メール〕 kanko@live-kk.co.jp

◆ ② 観光基礎ガイディング研修について

〔担当会社〕 株式会社北海道チャイナワーク（コンソーシアム会社）
札幌市中央区北2条西3丁目1 敷島ビル 6F 担当:矢野
〔電話〕 011-242-3880（平日 09:30～17:00）
〔メール〕 hokkaidokanko.jinzai@gmail.com

令和6年度北海道観光機構 観光人材育成事業

旭川大雪エリア マーケティング研修

観光地域を対象としたマーケティングの理屈・手法の分かりやすい解説、世界の観光先進国・地域における感動事例の紹介などを通して、旭川大雪エリアを世界水準の観光地域として進化させていくために必要な「デスティネーション(観光地域)・マーケティング」の“使える知識”を学びます。

参加
無料

日時

第1回 令和6年 10月8日(火) 13:30~16:00
第2回 令和6年 11月6日(水) 13:30~16:00

〔 ※第3回目以降は参加者の方と調整の上、日程を確定します。 〕
第3回 令和6年12月 第4回 令和7年1月
第5回 令和7年2月(予定)

場所

マルウンホール3階 (旭川市宮下通10丁目3-3)

定員

30名様 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

対象者

市町村観光所管職員、観光協会職員、DMO職員、
地域おこし協力隊、観光事業者ほか

参加申込

右記の二次元バーコードからお申込みください。



研修内容

裏面をご覧ください。

講師プロフィール

講師 北村倫夫氏
KIRI北村学際総研所長



元北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院教授
札幌出身。1981年3月北海道大学経済学部卒。同年4月株式会社野村総合研究所入社。同社では、国際研究部、地域計画研究部、行政システム研究部、地域政策研究部、社会システムコンサルティング部等に所属し、国土・マクロ政策、都市・地域政策、行政・公共経営、地域・事業開発の分野における、国・自治体・民間企業等からの受託調査研究に従事。2017年2月に同社を退職。
2017年3月より、北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授、2021年4月より特任教授を経て、2023年3月に定年退職。専門は、観光・デスティネーションマーケティング論、地域観光戦略論、パブリックセクター広報論、情報メディア論、キャリア開発論。2024年1月より、KIRI北村学際総研(個人事業)を立上げ現在に至る。

研修内容

【目的】

大雪カムイミンタラDMOの圏域(1市8町)における、「世界水準のデスティネーションマーケティング・プラン」を立案・実行するための、実践的知識と基礎的ノウハウを身に付けることを目的とする。

【方式】

本研修プログラムは、「PBL(Project-Based Learning):プロジェクト型学習」の方式により行う。PBLとは、「設定されたテーマに対して、参加者が自ら課題や目標を設定し、その解決や実現に向けたプランの立案とプレゼンテーションを行うことによって学ぶ学習形態」のことである。

【研修プログラムの構成】

| | |
|-------|---|
| 第1回 | <ul style="list-style-type: none">● デスティネーションマーケティングの最新理論・手法を学ぶ● デスティネーションマーケティングの最新理論・手法(ブランド設定、内外環境調査、市場戦略<セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング>、マーケティングミックス<7P>、<分析評価等)を体系的に学ぶ。 |
| 第2回 | <ul style="list-style-type: none">● デスティネーションマーケティングの海外実践事例を学ぶ● 世界の観光先進国・地域で策定・実行されている、「デスティネーションマーケティング・プランDMP)」の最新事例をケーススタディし、その実態を学ぶ。 |
| 第3・4回 | <ul style="list-style-type: none">● 「大雪デスティネーションマーケティング・プラン」(簡易版)の作成● 参加者のグループ作業により、大雪デスティネーションを想定した「マーケティング・プラン」(簡易版)を作成する。 |
| 第5回 | <ul style="list-style-type: none">● 「大雪デスティネーションのマーケティング・プラン」のプレゼン・討議 |

運営委託

観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

✉ kanko@live-kk.co.jp

主催 公益社団法人北海道観光機構

『観光基礎ガイディング研修』

ガイド業務や案内業務に従事されている方や、関心のある方を対象に、長年北海道における観光行政の中心におられ、幅広い知見を持つ講師から、国内外の観光客のトレンドや、注意すべき事柄などの基礎的な事項を学びます。

あわせて、「地球の歩き方 Guide of the Year 2024」を受賞されたトップガイド講師から、エンターテインメント性や顧客満足度を向上させるためのポイントを学ぶ、「観光基礎ガイディング研修」を開催します。

日時

2024年11月 7日(木)10:00~15:00

11月21日(木)10:00~15:00

ご都合の良い日程でご参加ください

午前の部 10:00~12:00 ガイド基礎講座

午後の部 13:00~15:00 ガイド研修

場所

北海道経済センター 8階ホール

(札幌市中央区北1条西2丁目)

定員

各75名様 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

対象者

市町村観光所管理職員、観光協会職員、DMO職員、地域おこし協力隊、ボランティアガイド、その他ガイドに興味のある方(主婦・学生など)。



参加申込

右記の二次元バーコードからお申込みください。

プログラム

●午前の部 10:00~12:00 ガイド基礎講座

①「北海道観光を取り巻く現状と今後の動き」

北海道エアポート株式会社 営業開発本部 観光開発部担当部長

安田 稔幸 氏



②「ゲストにあわせたコミュニケーション・ガイド術」

M's English代表

【地球の歩き方】「Guide of the Year 2024」受賞
北海道アドベンチャートラベルガイド(スルーガイド第1号認定)

馬上 千恵 氏



-----【昼食】各自-----

●午後の部 13:00~14:30 ガイド研修

グループに分かれて、札幌市内をガイド実地研修

※1グループ10~15名に1名のガイド講師が帯同します。

●講評・まとめ 14:30~15:00

運営委託

観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

☞hokkaidokanko.jinzai@gmail.com

主催 公益社団法人北海道観光機構

(公社)北海道観光機構令和6年度観光人材育成事業

11/7、21
2回開催

『観光基礎ガイディング研修』

ご都合の良い日程でご参加ください

講師プロフィール

北海道エアポート株式会社

営業開発本部 観光開発部担当部長

安田 稔幸氏



2002年に北海道庁観光局に出向
2004年に北海道運輸局に戻ってから観光部長で定年退職する2021年3月まで
「ビジットジャパンキャンペーン」(VJC)
「北海道観光ビジネスフォーラム」
「北海道スノートラベルエキスポ」
「留学生スキーインストラクター育成プロジェクト」など継続して観光行政に従事し、
現在は北海道エアポート株式会社の観光開発部 担当部長としてインバウンド観光の
推進に努めている。

M's English

代表 馬上 千恵氏

福島県生まれ。帯広畜産大学卒業後、北海道森林管理局に8年間勤務。
オーストラリアで英語教授法を学び英語講師となり、2008年より全国通訳案内士
として、斜里町などの知床半島、稚内市、厚沢部町などに住んで英語の自然ガイドや
インバウンド向けツアー企画など行う。2020年から札幌市拠点。
全国のガイド養成講座や英語接客セミナーなどで講師も務めている。



【地球の歩き方】「Guide of the Year 2024」受賞
北海道アドベンチャートラベルガイド（スルーガイド第1号認定）
全国通訳案内士・森林インストラクター
英検1級／TESOL(英語教授法)／WAFAdアドバンスレベル／
LNTレベル1インストラクター

運営委託 観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ hokkaidokanko.jinzai@gmail.com

主催 公益社団法人北海道観光機構

— 高付加価値旅行者 — 『受入基礎知識とモデルコース造成』

ラグジュアリートラベラーの誘客を図ることは、地域産業全体への経済効果の拡大と自然・文化等の未来への継承という持続可能な観光地形成に寄与する効果が期待され、特に地方への誘客を促進することは地方創生へも寄与することから、今後の函館におけるインバウンド戦略において重要な柱になると思われます。
つきましては、ラグジュアリートラベラー誘客と受入の第一人者を講師に迎えた研修会を開催します。

日時

2024年11月15日(金)10:00~16:00

場所

函館市中央図書館大研修室
(函館市五稜郭町26番1号)

定員

30名様 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

対象者

市町村観光所管職員、観光協会職員、DMO職員、
地域おこし協力隊、観光事業者ほか

参加申込

右記の二次元バーコードからお申込みください。



プログラム

- 主催者挨拶 10:00
- 事例紹介 10:10~12:00

①「ラグジュアリー・トラベル・マーケットへのアプローチ」 インバウンド戦略研究所代表取締役 清水 泰正氏

ラグジュアリートラベラー向け道南地域モデルコースを造成するために、まずは知っておかなければならない、マーケットの現状と地域コーディネーターの必要性を各地域DMOのアドバイザーとしてラグジュアリートラベラー誘客を実践されている講師からアドバイスをいただきます。



②「ラグジュアリー・トラベルマーケットとは」 鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部長 高田 茂氏

北海道におけるアドベンチャートラベルの先駆者であり、現在も阿寒湖での自らのガイド経験を元に、
・富裕層とラグジュアリートラベラーとの違い・アジア圏・欧米圏外国人観光客の違い
・私達がターゲットとすべきマーケット層とは？・グローバルニッチが期待する場所？
実際のケーススタディ・ラグジュアリートラベラー獲得のヒントについてお話いただきます。



【各自昼食】

●モデルコースづくり/ 13:00~15:00

グループに分かれ高付加価値旅行者向けモデルコースづくり
ファシリテーター 北海道運輸局観光部国際観光課係長 田尻 一樹氏

●講評・まとめ 15:00~16:00

－ 高付加価値旅行者 － 『受入基礎知識とモデルコース造成』

講師プロフィール

インバウンド戦略研究所

代表取締役 **清水 泰正氏**



慶應義塾大学法学部卒(2003年)京都大学経営管理大学院
観光経営科学コース修了(2021年)(経営学修士、MBA)
2000年 外務省在ブルネイ日本国大使館(2002年3月まで)
2004年 日本政府観光局(JNTO)入局
2009年 同シンガポール事務所
2014年 同香港事務所(2018年3月まで)
2018年 Japan Tourism Research & Consultancy社 設立(香港)
Japan Tourism Research & Consultancy Limited 代表取締役
京都市観光協会(DMO Kyoto) アドバイザー、広島県観光連盟アドバイザー、
(社)日本フォトウェディング協会 顧問

鶴雅リゾート株式会社

取締役 アドベンチャー事業部長 **高田 茂氏**

1959年北海道北見市生まれ 明治大学政経学部卒業。在学中、ラグビー部に所属し
2度大学選手権優勝。

1986～2008年 ホテル経営のかたわら阿寒湖のフライフィッシング、カヌー普及の
ため様々な取組に尽力される。(プロの誘致、カンファレンス開催等)

2009年鶴雅リゾート入社、

2017年12月鶴雅アドベンチャー事業部開設とともに事業部長に就任

※2016年ATWSアラスカ、2017年ATWアルゼンチン、2018年ATWSイタリア、
2019年ATWSスウェーデンに4年連続参加し、阿寒でのアドベンチャートラベルを
世界に発信。

2018年4月に阿寒湖で「安全管理がしっかりできる森や水辺のエンターテイナー」を
コンセプトとしたアドベンチャーズベース(SIRI)をオープンし、現在に至る。

(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会理事



運営委託

観光機構観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

✉ kanko@live-kk.co.jp

(公社)北海道観光機構 令和6年度観光人材育成事業

参加
無料

『インド市場を学ぶ』

2023年9月1日、千歳市にてRapidus株式会社の竣工式が行われ、これを契機に世界各国からのIT人材来道が期待されています。中でも、IT先進国であるインドの訪日ビジネスマーケットは特に注目されており、また、近い将来、世界最大のマーケットになることが予想されるインドに対し、全国各地で人材獲得の取り組みが始まっています。

今後、確実に顕在化してくる観光マーケットも含め、地域間競争に負けないよう、インド市場に精通したお二人を講師に迎え、インドの現状理解と基礎知識を学ぶ研修会を開催します。

日時 2024年11月28日(木)13:30~16:00

場所 札幌国際ホール 札幌市中央区北4条西4丁目1番地
札幌国際ビル8階

定員 ①会場60名様 ②オンライン60名様

※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

対象者 市町村観光所管職員、観光協会職員、DMO職員、
地域おこし協力隊、観光事業者ほか

参加申込 右記の二次元バーコードからお申込みください。



プログラム

1. 基礎講習

①「インド市場の取り組みにあたっての注意事項」

インバウンド戦略研究所 代表取締役 **清水 泰正氏**

JNTOシンガポール事務所勤務時代にインド市場を担当、現在も広島県観光連盟のアドバイザーとして、インド市場への取組も行う講師の経験から、インド市場にアプローチするにあたっての注意事項についてお話しいたします。



②「インド市場の現状と北海道の可能性～ベンガルールから～」

JALベンガルール営業所長(南インド地域代表) **高野 憲一氏**

JTB、JNTO、JALと10年以上に渡りインドからのインバウンドに取り組む。現在もインド駐在で、最もマーケットに近い所からの視点で、インドからの北海道誘客についてお話しいたします。



2. 質疑応答

3. 個別相談(事前申し込み・件数制限有)

運営委託

観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

✉ kanko@live-kk.co.jp

主催 公益社団法人北海道観光機構

『インド市場を学ぶ』

講師プロフィール

インバウンド戦略研究所

代表取締役 **清水 泰正氏**



慶應義塾大学法学部卒(2003年)京都大学経営管理大学院
観光経営科学コース修了(2021年)(経営学修士、MBA)
2000年 外務省在ブルネイ日本国大使館(2002年3月まで)
2004年 日本政府観光局(JNTO)入局
2009年 同シンガポール事務所
2014年 同香港事務所(2018年3月まで)
2018年 Japan Tourism Research & Consultancy
社 設立(香港)
Japan Tourism Research & Consultancy Limited
代表取締役
京都市観光協会(DMO Kyoto) アドバイザー
広島県観光連盟 アドバイザー
(社)日本フォトウェディング協会 顧問

JALベンガルール営業所長(南インド地域代表)

高野 憲一氏

JJTB、JNTO、JALと10年以上に渡りインドからの
インバウンドに取り組む。現在もインド駐在で、
最もマーケットに近い視点を持つ。
2009年6月 JT Bからトーマス・クック・インドア出向
2011年 JT Bインドア社立ち上げ
2017年3月 JNTOデリー事務所長
2019年10月 JALベンガルール営業所長
(ベンガルール線就航を実現)



運営委託

観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

✉ kanko@live-kk.co.jp

(公社)北海道観光機構 令和6年度観光人材育成事業

観光分野における『DX・AIの活用』

観光業界での業務が多様化する中、恒常的な人手不足対応が課題になっている今、業務効率アップのため、DX・AIを積極的に活用している事例を学びたいとの声が多く聞かれます。

皆様の業務効率化のためのヒントとなるべく、釧路及び京都における観光DX・AIの活用事例を学び、課題解決につながるセミナーを開催します。



日時

2024年12月5日(木)10:00~15:00

場所

オホーツク・文化交流センター 視聴覚室
(愛称:エコーセンター2000/網走市北2条西3丁目3番地)

定員

30名様 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

対象者

市町村観光所管職員、観光協会職員、DMO職員、
地域おこし協力隊、観光事業者ほか

参加申込

右記の二次元バーコードからお申込みください。

参加
無料



プログラム

1. 基礎講習「事例紹介」 10:10~12:00

①「ひがし北海道における観光DXの取組」

(株)Destination HOKKAIDO Lab 代表取締役 佐藤 明彦氏

ひがし北海道では、「2次交通事業者」が旗振り役となった「地域が主役となる」予約システムを活用した観光DXが進んでいます。今回は、この事例を参考に、観光事業者におけるDX化のあり方について模索します。



②データを活用した京都観光の体験価値向上

(公社)京都市観光協会 DMO企画・マーケティング統括官 堀江 卓矢氏

公式サイト「京都観光Navi」では、観光客の体験価値を向上させることを目的に①エリアと時間帯別の観光快適度の予測、②ユーザーの好みに応じたモデルコースの自動作成、③観光案内所と連携した「よくある質問」ページの運営、④OTAと差別化した体験予約ページの運営 などの新機能を実装してきました。その責任者である講師から運用の事例紹介と今後の新たな可能性についてお話いただきます。



【各自昼食】

2. グループ討議 13:30~15:00

①業務改善案の検討(90分)

②講評・まとめ(30分)

グループに分かれ職場における観光AI・DXを活用した業務改善案を検討、発表する。

運営委託

観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

✉ kanko@live-kk.co.jp

主催 公益社団法人北海道観光機構

後援 網走市・一般社団法人網走市観光協会

(公社)北海道観光機構 令和6年度観光人材育成事業

12/5
開催

観光分野における『DX・AIの活用』

講師プロフィール

(株)Destination HOKKAIDO Lab

代表取締役 佐藤 明彦氏



1987年生まれ。釧路市出身。

北海道中小企業家同友会、釧路観光コンベンション協会(地域連携DMO)を経て2024年に(株)Destination HOKKAIDO Lab 開設。現在北海道大学国際広報メディア・観光学院ディスティネーションマネージャー育成プログラム在学中。プロ写真家としてネイチャーや風景写真やコマースルフォト等を手掛ける。主に食やアウトドア型観光、AT(アドベンチャートラベル)が専門。地域が主体となる観光業向けのDX化を研究中。サイクリングや登山が趣味。

(公社)京都市観光協会 DMO企画・マーケティング統括官
堀江 卓矢氏

京都市出身。

京都大学大学院農学研究科修了後、株式会社三菱総合研究所に入社。リサーチャーとして、官公庁事業の公共政策評価や、航空業界における経済効果分析、東京都を始めとした観光マーケティング業務に従事。2016年、京都市におけるDMO立ち上げを機に、マーケティング責任者として京都市観光協会へ転職。経営戦略の策定、法人サイトの刷新などのコーポレートブランディング、統計データ分析、メディア運営設計などを手がける。



運営委託

観光人材育成事業(従業員研修)コンソーシアム

お問合せ

✉ kanko@live-kk.co.jp

主催 公益社団法人北海道観光機構 後援 網走市・一般社団法人網走市観光協会